

目次

Philosophy

～高島屋グループの価値観と創業の精神～

高島屋グループ経営理念／5つの指針	1
創業の精神／企業メッセージ	2

目次／編集方針

目次	3
編集方針	4

What's Takashimaya? イントロダクション

At a glance ～データで見る高島屋～	5～8
At a glance ～グループを支える幅広い事業～	9～15
高島屋の歴史 ～革新のDNA～	16～18



Why? 価値創造への取り組み

経営理念とビジョンの再確認	19～23
トップメッセージ	24～27

What? 独自価値の提供

価値創造プロセス	28
活用・増強する資本	29・30
当社百貨店ビジネスモデルの特徴	31
培ってきた魅力	32～34
高島屋グループの強み	35・36
中期経営計画(2024年～2026年度)	37
中期経営計画におけるまちづくり	38～40
国内百貨店大型5店 店長座談会	41～44
グループ成長の柱	45～47
タカシマヤアプリを軸とした顧客戦略	48
ステークホルダーへの提供価値	49・50
提供価値のイノベーション	51
企画本部長メッセージ	52・53
財務戦略	54・55

Who? 誰が価値を創るのか

人的資本経営／人材戦略	56～60
-------------	-------

Where? 価値の創出

「まちづくり」の進化と深化	61
国内における面的開発	62・63
地域とともに歩む「まちづくり」への貢献	
流山市・井崎市長 × 東神開発・倉本社長 対談	64～67
アジアに広がる「Takashimaya」	68・69
WEBコンテンツの充実	70

When? 価値の発揮

2024年度業績ハイライト	71・72
中期経営計画の進捗状況	73～76

How? 価値創造の基盤

ESG経営と社会的責任	77～84
環境	85～93
社会	94～103
社外取締役 座談会	104～106
コーポレートガバナンス	107～114
リスクマネジメント	115～117
情報開示	118・119

コーポレートデータ

主要財務データ	120・121
主要非財務データ	122～124
会社概要	125・126

編集方針

本統合報告書は、当社グループが創業から今日に至るまで、何を大切にし、どのような歴史を積み重ねてきたのか、また培った強みをどのように生かして将来の永続的な成長に結び付けていくのかについての理解を深めていただくことを目的とし制作しました。

創業からの店是に基づいたお客様第一主義、経営理念「いつも、人から。」に根差した人的資本経営、グループ総合戦略「まちづくり」の原動力である「3つの強み」など、当社グループ独自の特性をより深くご理解いただくことを企図し、編集しています。

本統合報告書をすべてのステークホルダーの皆様との対話のツールとして活用し、当社グループへの理解を深めていただけるよう取り組みを進めていきます。

報告対象

株式会社 高島屋およびグループ会社

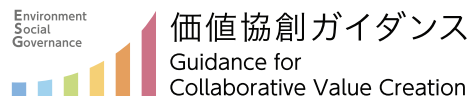
報告期間

2024年度(2024年3月1日～2025年2月28日)

※特段の注記なき場合は、2025年2月期、もしくは2025年2月末時点の数値を記載しています。
※発行時点の最新情報も可能な限り掲載しています。

参考にしたガイドライン

- ・国際統合報告評議会(IIRC)「国際統合報告フレームワーク」
- ・経済産業省「価値協創ガイダンス」



発行

株式会社 高島屋

情報開示媒体

本統合報告書に掲載しきれない詳細の情報は以下ウェブサイトよりご覧ください。

 [高島屋グループ企業サイト](#)

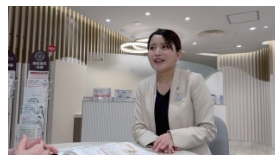
TAKASHIMAYA GROUP「THE SPIRIT」では、「進取の精神」を持続ける当社グループの取り組みを動画で紹介しています。

 [TAKASHIMAYA GROUP「THE SPIRIT」](#)



チャレンジ精神と情熱を受け継ぐCSケーススタディ

 [動画を見る](#)



百貨店のホスピタリティでお客様の人生設計に寄り添う高島屋の金融事業

 [動画を見る](#)



アジア進出の苦難と、躍進。シンガポール高島屋S.C.

 [動画を見る](#)

将来の見通しに関する注意事項

本統合報告書における業績に関する計画や将来の予測は、発表日時点で入手可能な情報に基づき記載しており、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。従って、さまざまな要因により、実際の業績は見通しと大きく異なる可能性があります。

問い合わせ先

株式会社 高島屋 広報・IR室

 [取材依頼・IRに関するお問い合わせ](#)

統合報告書の位置づけ

